

2019.8 作成：SDGs 委員会 鈴木利夫



## 目標 14 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

14.1 2025 年までに、特に陸上活動による海洋堆積物や富栄養化を含む、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、それらを大幅に削減させる。

### 海洋プラスチックごみの問題

ジーズくん



海洋プラスチックごみの問題について教えてください。



エスディ博士

世界では年間約 800 万トンものプラスチックが、ごみとして海に流れ込んでいるとも推計されています。2050 年には、海にいる魚すべての重量よりプラスチックの方が重くなると言われていて、「プラスチックの海」になってしまうのではないかと懸念されています。この海洋プラスチックで、特に問題になっているのが「マイクロプラスチック」です。

マイクロプラスチックって何ですか？



環境中に捨てられたプラスチックごみは、川から海へと至り、波の力や紫外線の影響などで細かく砕けていく。5 ミリ以下になったものはマイクロプラスチックと呼ばれ、世界中の海に存在しているのです。このマイクロプラスチックが、近年、魚や海鳥の体内から大量に見つかっています。海の小さな生物がプラスチックをとり込んで、それが食物連鎖で魚や海鳥にとり込まれて検出されているということなので、こうした食物連鎖を通じて私たちの体内にも蓄積しているのではないかと懸念されています。海に広がったマイクロプラスチックを後から回収することはほぼ不可能なので、プラスチックごみ自体を今のうちに減らしていく必要があるというのが最近の流れなのです。

プラスチックごみは環境への影響も結構あるのですよね。



まず、原料が石油なので、**化石燃料を大量消費するし**、処分するときも、燃やすと石油を燃やしていることになるので、**地球温暖化が進みますよね**。あと、ウミガメが鼻にストローをつまらせて苦しむショッキングな映像をニュースで見たことありませんか。**海の生物にはこうした直接的な被害も出ています**。海鳥なんかは海面に浮遊しているものを魚と間違えて食べてしまうことがよくあるのです。



そもそもなんですけど、海のプラスチックごみというのは一体どこから来ているのですか？



街角でポイ捨てされたものも一部は海のごみになります。たとえば街でポイ捨てされたペットボトルを例にすると、雨と一緒に側溝に流れ込んで川に流れていく。それがやがて海に流れ込むというわけです。



日本のプラごみ処理の実情を教えてください。



日本は年間 150 万トンのプラスチックごみを、「資源」という位置づけで、**中国を中心としたアジア諸国に輸出してきました**。そうしたプラスチックごみは、ごみ発電所の燃料にしたり、処理してペレット状にしたものから再生プラスチックを作ったりします。ただ現実には、容器や包装などのプラごみって、分別はしていても、お菓子が中についていたり、ペットボトルの中身が少し残っていたりします。そうした汚れたものはリサイクルにまわせない場合が多いのです。洗浄にコストがかかってしまうからです。使えないと思ったものはそのまま捨ててしまう。「使えるものだけリサイクルしてあとは捨てちゃいます」という途上国に、日本はごみを供給し続けているのです。そうした**汚れたプラごみは海に流出されているのです**。

プラごみの海外輸出は、処理体制が整っていないアジアの途上国に実質的に押しつけているのと同じで、海への流出を加速させることにつながると懸念されているのです。



それで最近、「**バーゼル条約**」というごみの輸出を規制する国際条約で、**汚れたプラスチックごみの輸出入を制限しましょう**ということが決まったのです。先進国から途上国へのごみ輸出が海洋プラスチック問題を生んでいるのだから、それを規制する必要があるということとようやく世界が合意したのです。このバーゼル条約にさきがけて、世界最大のプラスチックごみ輸入国だった**中国も、環境汚染などを理由に2017年から輸入規制を始めていて、日本やアメリカではプラスチックごみの行き場がなくなりつつあるという影響が出ています。**そうした中、日本でもプラスチックストローの使用をやめたり、レジ袋を有料化したりする取り組みが見られます。



私たちに出来ることは何かありますか？



**ごみを減らす「Reduce(リデュース)」**

**使い続ける「Reuse(リユース)」**

**再利用する「Recycle(リサイクル)」**

使い捨てプラスチックって身近に何かあるだろうと考えて、その使用をなるべく減らす。

ペットボトルではなく、水筒を持って行く。

マイバッグを持って行ってレジ袋はもらわない。

ごみはちゃんと分別して出す。

弁当のプラスチック容器をきれいに洗って出すことも大切です。



普段の生活の中でも、私たちに出来ることがあるのですね。  
ちょっと意識して、取り組んでみます！





社内のプラごみの分別をどうしていったらいいか、一緒に考えてください！

会社の中のプラごみを、皆さんに分別していただいておりますが、**産業用廃棄物プラスチック（会社で出るプラごみ）は、他のごみと一緒に焼却処分されていることがわかりました。**（家庭用のプラごみは、市が集めてリサイクルされています。）ですが、**希望すれば倉庫で出るようなプラごみは、処分費用はかかりますが、固形燃料として再利用してもらうことができます。**さらに、**ラップについては、有価物としてリサイクルしてもらうこともできます。**（詳細は以下の通りです。）

#### 故紙センタートヨタへ回収依頼の場合

1週間20K~100Kまで 60円/Kで回収→固形燃料として再利用

ラップだけは1回1円で買い取り→リサイクル

#### 当社の倉庫のプラごみの排出量

週25Kぐらい（ラップを除く）→年間回収費用7~8万円ぐらいかかる

ラップだけの排出量は週25Kぐらい→年間回収収入は100円ぐらい

その他、産業廃棄物管理票（マニフェスト）が必要で、伝票費用が年間4~5千円ぐらいかかります。

古紙回収収入が年間4万円ぐらいありますので、**差し引き年間3~4万円+伝票代の費用で倉庫のプラごみの再利用が可能です。**

※ペットボトルは、ビン・缶と共に、山本エコロジーに75円/月で買い取りしてもらい、リサイクルしてもらっています。

**事務所で出るプラごみ（お弁当の容器やお菓子の袋・カップなど）については、再利用の対象になりませんので、焼却処分してもらうしかありません。**

焼却処分されれば、CO<sup>2</sup>が排出され地球温暖化の原因となるだけです。それならば、せめて倉庫で出るプラごみだけは、固形燃料として再利用してもらうようにしてはどうでしょうか？

また、事務所で出るようなプラごみは、分別するだけ、無駄といえば無駄です。ですが、汚れたプラごみが海に流出されて海洋プラスチックごみとなっている現状があります。

「せめて自分たちだけでも」の精神で、分別を続けていけば、もしかしたら世の中を変える第一歩となるかもしれません。社内でも分別することは、家庭で分別することの習慣付けにもなるのではないかと思います。皆さんは、プラごみの分別についてどう思いますか？



## <脱プラ商品のご紹介>

(シンギ) PLA (生物分解性プラスチック) スプーン・ドリンクカップ / 紙ストロー

### 生物分解性プラスチックとは

使用中は通常のプラスチックと同じようにつかえて  
使用後は自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解され、  
自然に還る植物由来のプラスチックです。



(伊藤景) WASARA

### WASARA とは

竹とサトウキビの繊維で作られた  
環境に優しく、人のこころを潤し豊かにする食器です。  
土に埋めると生分解されて、「堆肥」となります。



## <ありがとうカードのご紹介>

7月にありがとうカードを渡した枚数が多かった方を発表します。

- 第1位 佐藤孝志さん (21枚)
- 第2位 大石佳奈さん (16枚)
- 第3位 福島 薫さん (12枚)
- 第4位 森川沙帆さん (11枚)
- 第5位 山名功典さん、高橋真海さん、藤田琢弥さん (9枚)



### ありがとうカード大賞

心に残ったありがとうカードを紹介します。

#### 武井萌さんから森川沙帆さんへ

『おチビのために 手作りのエプロンありがとうございます♡  
いつもエプロン嫌がるのに 森川さんから頂いたエプロンは  
すんなり着てくれました ♪大切にに使わせていただきます』



突然のプレゼントだった  
そうです。はるまくんも  
嬉しそうですね。とても  
似合ってます！